

HPAIの発生状況について

9月12日、韓国の家さん農場(約3,100羽)で今シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1 亜型)が発生しました。

国内でも北海道で渡り鳥の飛来が確認されており、発生リスクが高まっています。防疫体制を整備し、入出時対策・野生動物対策・入気口対策等の農場の発生予防対策を再確認してください。

＜3年間のHPAI国内発生状況＞

	家さん発生件数		野鳥発生件数	
	都道府県	事例	都道府県	事例
令和6年度	14 道県	51 事例	19 道県	227 事例
令和5年度	10 県	11 事例	28 都道府県	156 事例
令和4年度	26 道県	84 事例	28 道県	242 事例

HPAI 発生予防対策のポイント

① 人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域専用の衣服・靴の使用
- ・着用前後で交差のない導線、明確な境界の確保
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施
- ・家さん舎ごとの専用の靴の使用



② 野生動物の侵入防止、誘因防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修理
- ・ねずみ及び害虫の駆除
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理



防鳥ネットや
鶏舎破損の補修

➡ 誘因防止

